

(2007年8月号)

目 次

〈 繊維情報 〉

- ・2007年6月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品)……………1
- ・2007年5月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類)……………11
- ・アジア 中 国 2007年1-6月の繊維品貿易概況……………14
 - 韓 国 2007年1-6月の繊維品貿易概況……………17
- ・米 州 米 国 2007年5月の繊維品輸入、中国の伸び顕著……………20

〈 組合関係の会議と催事 〉

- ・(2007年7月)……………23

〈 組合業務報告 〉

- ・東京・大阪・名古屋で各種研修会と講演会を開催(輸出入)……………25
- ・四川省服装協会と輸入組合との懇談会を開催(輸入)……………28

〈 お知らせ 〉

- ・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」について(輸出)……………29
- ・「イラン」向け、引受方針変更について(輸出)……………30
- ・名古屋事務所移転のご案内(輸出入)……………31
- ・9月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入)……………32

〈 組合員情報 〉

- ・組合員の脱退と承継加入(輸出)……………32



－前年同月比横ばいの7億7,159万ドル－

2007年6月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比横ばい（前年1－6月比：4%増）の7億7,159万ドルに止まり、4ヶ月連続の増加はなかった。

なお、為替が2006年6月の114.53円に対し、2007年6月は122.62円と昨年同月に比べ約7%の円安となっていることから、円ベースでは7%増（同8%増）の946億1,200万円と今年に入って増勢が続いている。

<主要地域・国別輸出>

6月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の73%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは5%減と減少に転じた。一方、西アジア、欧米の純輸出市場は、為替のフォローの風もあり、今年に入って引き続き好調を維持しており、主要地域は揃って増加推移となり、東アジアの減少をカバーした。

東アジアの主要国向けでは、韓国、タイ、フィリピン、インドネシアは増勢推移となったが、最大市場の中国、香港、台湾、マレーシアが減少し、ベトナム、シンガポールは横ばいに止まったことから、前年同月比5%減（同横ばい）の5億8,509万ドルと4ヶ月振りに減少に転じた。

シェア5%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に増勢を維持し、全体として23%増（同15%増）の3,246万ドルとなった。

欧米市場も引き続き揃って好調を維持しており、シェア10%のEUは、原料類（綿・糸）、織物類が共に好調に推移し、24%増（同23%増）の6,558万ドルと大幅な増加となった。一方、シェア8%の米国は、綿類、不織布、アパレルが好調に推移し、8%増（同11%増）の5,858万ドルと堅調に推移した。

<主要品目別輸出>

これを主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体として、数量で4%増（同3%増）、金額で15%増（同15%増）と好調な推移となった。

太宗の合繊綿は、数量で1%減（同横ばい）ながら、金額では単価の上昇により11%増（同14%増）と2桁の増加となった。

この内、主力のアクリル綿は、量的にはイラン、インドネシア、欧米が健闘したが最大市場の中国が大幅に減少し、数量で4%減（同横ばい）となった。但し、金額では、単価のアップにより12%増（同13%増）となった。

一方、ポリエステル綿は、タイが横ばい、中国、米国が後退したが、EU、マレーシアが健闘し、数量で4%増（同7%減）、金額では、単価のアップにより、14%増（同6%増）となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力のEU、また、東アジアが好調に推移し、数量で57%増（同25%増）、金額で33%増（同22%増）と数量、金額共に大幅な増加となった。

スフ綿は、東アジア、米国、EUが何れも好調に推移し、数量で27%増（同22%増）、金額で31%増（同23%増）と数量、金額共に好調な推移となった。

織維品輸出実績（2007年6月）

単位	2007年6月				2007年1月～6月				2006年実績				
	数量		金額		数量		金額		数量		金額		
	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル	数量	ドル	
織維品総合計	94,612	771,585	100	2,127,12	483,710	4,028,634	108	104	942,373	8,102,550			
原料(綿)合計	35,189	12,074	104	98,465	115	574,370	103	120	118,992	1,022,832			
スフ綿	6,339	2,838	127	23,142	131	128,829	122	128	62,898	25,833			
合繊綿	26,072	8,992	99	73,332	111	435,422	100	118	313,244	90,882			
(ポリエステル)	3,915	835	104	6,810	114	38,226	93	110	46,753	8,787			
(アクリル)	19,301	6,411	96	52,282	112	37,680	100	113	238,023	65,808			
糸合計	11,396	9,836	98	80,214	104	446,796	98	109	132,706	103,131			
人絹糸	1,123	1,068	113	8,712	122	47,422	103	116	12,210	10,436			
スフ糸	21	41	57	331	68	2,016	75	109	301	405			
合繊長糸	9,290	7,558	97	61,640	105	351,347	98	110	109,458	80,070			
(ナイロン)	2,033	1,729	101	14,097	106	9,632	98	109	23,766	18,058			
(ポリエステル)	2,850	1,483	85	12,095	92	75,278	91	99	38,017	18,443			
合繊短糸	285	307	56	2,504	64	1,519	75	85	3,783	3,448			
綿糸	491	343	129	2,795	108	16,297	119	110	5,070	3,918			
織物合計	118,289	37,118	96	302,711	95	1,456,405	96	101	1,221,025	366,512			
絹織物	626	1,076	98	8,778	93	3,589	89	93	7,586	12,682			
人絹織物	8,185	2,655	117	21,653	102	37,242	105	103	74,363	26,439			
スフ織物	1,035	479	108	3,906	97	2,197	97	106	9,863	4,484			
合繊長織物	59,775	14,661	98	119,567	101	62,893	96	107	582,325	127,729			
(ナイロン)	7,268	1,864	96	15,201	107	32,673	94	104	72,490	15,688			
(ポリエステル)	47,019	10,660	99	86,934	98	368,482	94	103	447,346	93,225			
合繊短織物	16,236	4,104	99	33,466	100	88,392	101	107	177,576	41,653			
綿織物	27,382	10,198	89	83,166	88	148,802	92	96	315,628	112,854			
毛織物	4,920	3,882	86	31,656	84	18,223	98	100	49,590	37,503			
不織布	63,370	6,386	129	52,080	114	348,036	119	116	609,944	62,988			
タイヤコード織物	2,096	301	164	2,453	133	13,461	125	125	17,335	2,872			
コーテッド織物	2,107	5,351	106	43,635	96	27,346	115	120	18,074	46,353			
ニット生地	8,330	6,930	103	67,930	103	37,469	111	108	73,497	631,885			
アパレル	3,008	24,535	99	24,535	99	20,388	170,022	108	104	40,656	349,292		
その他	12,209	99,564	93	99,564	93	64,838	540,138	106	103	127,392	1,095,334		

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。
 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。
 3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。
 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

糸類の輸出は、数量で2%減（同2%減）、金額で4%増（同5%増）と数量減の金額増となった。

主力の合繊長繊維糸は、数量で3%減（同2%減）、金額で5%増（同6%増）と数量減の金額増となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、中国、米国、EUが減少し、数量で15%減（同9%減）、金額で8%減（同4%減）と低調な推移となった。一方、ナイロン長繊維糸は、中国、フィリピンが減少したが、タイ、EUが健闘し、数量で1%増（同2%減）、金額で6%増（同5%増）となった。

その他の合繊長繊維糸では、アクリル長繊維糸は、主力の米国、EUが共に振るわず、数量で24%減（同23%減）、金額で9%減（同4%減）となった。

また、人絹糸は中国は不振推移となったが、EU、韓国が健闘し、数量で13%増（同3%増）、金額で22%増（同11%増）と数量、金額共に2桁の増加となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で4%減（同4%減）、金額で5%減（同2%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

織物の内訳では、中心品目の**ポリエステル長繊維織物**は、数量で1%減（同6%減）、金額で2%減（同1%減）と、数量、金額共に微減推移となった。

地域的には、全体の72%を占める東アジア向けは、香港、台湾、フィリピン、スリランカが不振推移となったが、最大市場の中国、タイが増勢で推移し、東アジア全体としては1%増（同5%減）となった。

また、純輸出市場向けは、西アジアは、アラブ首長国は好調に推移したが、サウジアラビアが大幅な減少となり、西アジア全体として10%減（同15%減）となった。

一方、欧米市場向けは、EUが1%増（同2%減）と微増推移となったが、米国は10%減（同12%減）と不振推移となった。

ナイロン織物は、数量で4%減（同6%減）となったが、金額では単価の上昇により、7%増（同横ばい）となった。

シェア82%の東アジア向けは、最大市場の中国は健闘したが、香港、ベトナムが大きく後退し、全体として4%減（同9%減）となった。一方、欧米市場は、シェア6%の米国が5%減（同6%増）と減少推移となったが、同じくシェア6%のEUは35%増（同107%増）と、このところ著しい増加が続いている。

綿織物は、数量で11%減（同8%減）、金額で12%減（同8%減）と数量、金額共に2桁の後退推移となった。

82%のシェアを占める東アジア向けは、ベトナム、台湾、タイが好調に推移したが、最大市場の中国、香港、韓国、マレーシアが減少推移となり、東アジア全体として14%減（同11%減）となった。一方、欧米市場は、シェア12%の米国が14%増（同8%増）、シェア2%のEUは20%増（同8%減）と、揃って好調な推移となった。

ポリエステル短繊維織物は、数量で6%減（同1%減）、金額で5%減（同1%増）と低調な推移となった。

全体の57%を占める東アジア向けは、最大市場の中国、香港、ベトナムが減少し、東アジア全体として15%減（同6%減）となった。一方、シェア42%の民族衣装用の西アジアは、アラブ首長国、サウジアラビア、クエートが揃って好調に推移し、西アジア全体として16%増（同7%増）となった。

人絹織物は、数量で17%増（同5%増）、金額で2%増（同1%減）と数量、金額共に増勢推移となった。

シェア72%の東アジアは、最大市場の香港、中国、韓国が健闘し、東アジア全体として17%増（同4%増）となった。一方、シェア13%の西アジアは、アラブ首長国が微減と

なったが、サウジアラビアが増加し、全体として12%増（同9%増）となった。また、欧米市場も揃って好調で、米国は43%増（同9%増）と大幅に増加、EUも29%増（同7%増）となった。

毛織物は、数量で14%増（同2%減）、金額で16%減（同5%減）と、数量、金額共に2桁の減少推移となった。

地域的には、東アジアが95%とほぼ全量を占めている。ベトナムは大幅な増加となったが、最大市場の中国、香港が減少し、東アジア全体として14%増（同2%減）となった。

不織布の輸出は、数量で29%増（同19%増）、金額で14%増（同12%増）と数量、金額共に好調な推移が続いている。

全体の56%を占める東アジアは、台湾、シンガポール、マレーシアが減少したが、最大市場の中国を始め、香港、韓国、ベトナム、タイが大幅に増加し、全体として29%増（同24%増）となった。

一方、欧米市場は、シェア35%の米国は30%増（同13%増）、シェア6%のEUは77%増（同17%増）と何れも大幅増となった。

コーテッド織物の輸出は、数量で6%増（同15%増）、金額で4%減（同15%増）と数量増の金額減となった。

全体の82%を占める東アジアは、香港が減少したが、最大輸出先の中国、タイが伸び、全体として4%増（同15%増）と好調な推移となった。

一方、欧米市場は、シェア6%の米国は40%増（同56%増）と大幅に増加したが、シェア5%のEUは16%減（同3%増）と減少推移となった。

ニット生地の輸出は、数量で2%増（同2%増）、金額で3%増（同4%増）と数量、金額共に堅調な推移となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、最大市場の中国、香港、インドネシアが好調に推移、一方、韓国、台湾、ベトナム、タイは不振推移となった。

また、欧米市場向けは、EUは大幅に増加したが、米国は数量減の金額増となった。

アパレルの輸出は、金額で1%減（同4%増）と微減推移となった。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、主要国の台湾は後退したが、香港、韓国、EU、米国が揃って増加し、金額で23%増（同12%増）と大幅に伸長した。一方、下着類は、韓国、EUは増加したが、最大国の台湾、香港が半減し、金額で15%減（同6%増）となった。

ニット製衣類では、外衣類は、香港、韓国が増加したが、台湾、中国、EU、米国が減少し、金額で21%減（同4%減）となった。一方、下着類も、EUが健闘したが、台湾、香港、中国が大きく減少し、金額で13%減（同1%減）となった。

その他二次製品は、金額で7%減（同3%増）と減少推移となった。

II. 原料(綿・糸)の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計の輸出は、主力のアクリル綿が減少推移となり、ポリエステル綿、ビニロン綿、スフ綿は増勢で推移したが、全体で、数量では1%微減の3万5,289トンとなった。但し、金額については全体的な輸出単価の上昇もあって11%増の7,333万ドルと

2桁の増加となった。

単位：トン、千ドル、セント、%

	2007年6月				2007年1～6月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	6,339	127	23,142	365	35,920	122	128,829	359
合繊綿	26,072	99	73,332	281	161,920	100	435,422	269
ポリエステル	3,915	104	6,810	174	21,878	93	38,226	175
アクリル	19,301	96	52,282	271	123,802	100	314,152	254
他合繊綿	2,856	115	14,240	499	16,240	113	83,044	511
人絹糸	1,123	113	8,712	776	6,000	103	47,422	790
合繊長糸	9,290	97	61,640	664	53,212	98	351,347	660
ナイロン	2,033	101	14,097	693	11,665	98	80,248	688
ポリエステル	2,850	85	12,095	424	18,029	91	75,278	418
他合長糸	4,407	106	35,448	804	23,518	103	195,821	816
綿糸	491	129	2,795	569	2,793	119	16,297	583

出所：財務省統計

品目別では、輸出依存度の非常に高いアクリル綿は、全体の76%を占める東アジア向けは、インドネシアが35%増と健闘したが、最大輸出先の中国が19%減と減少したのを始め、香港13%減、タイ13%減、インド23%減、韓国51%減と何れも後退し、東アジア全体では17%減の1万4,060トンとなった。他市場では、イランが101%増の2,323トンと倍増、欧州は英国、イタリアが大きく伸び、31%増の772トン、米国についても30%増の981トンと増勢で推移した。また、アフリカは南アフリカをはじめ、ナイジェリア、セネガル、トーゴがいずれも増勢推移となり、79%増の1,109トンとなった。

アクリル綿全体では、イラン、欧州、北米、アフリカが揃って好調に推移したが、最大市場の東アジアが中国を中心に減少したことから、数量で4%減の1万9,301トン、但し、金額については、単価の上昇により、12%増の5,228万ドルとなった。

ポリエステル綿は、最大市場の東アジアは、マレーシアが59%増と大幅増となったが、最大市場のタイが横ばい、中国が21%減減少し、東アジア全体では、1%微減の2,359トンとなった。他市場では、欧州は、イタリア、英国が大きく伸び35%増の1,056トン、一方、米国向けは2%減の500トンとなった。ポリエステル綿全体では東アジア、米国の両市場が低調推移となったが、欧州の健闘により4%増の3,915トンとなった。また、金額は、単価が上昇しており、14%増の681万ドルとなった。

その他品目では、資材用が中心のビニロン綿は、主力の欧州向けで、オランダ、ポーランドが大幅な増加となり、中国を中心とする東アジアも健闘したため、全体では数量で57%増の1,542トン、金額で33%増の450万ドルと、数量、金額いずれも大幅な増勢推移となった。

スフ綿は、アセテート・トウが83%を占めているが、そのアセテート・トウは韓国、ベトナム、トルコが減少したが、主要市場の中国向けが3%増と堅調に推移、フィリピン、インドネシア、豪州、EU、南アフリカについても順調に推移し、全体では、数量で14%増の5,365トン、金額で21%増の2,025万ドルとなった。

スフ綿全体では、ビスコースレーヨン綿も米国を中心に281%増と大增勢で推移したことから、数量で27%増の6,339トン、金額で31%増の2,314万ドルとなった。

〈糸輸出〉

注：財務省輸出統計において、合繊長繊維系に分類される品目で、2007年から「弾性を有するもの」及び「ポリプロピレン」の2品目が新設されたことから、本年度の統計には「弾性を有するもの」の中にナイロン、ポリエステル、ポリウレタン等の長繊維系が一部含まれていると推測され、下記品目別の対前年比が整合性に欠けるものとなっている。特に、ポリウレタン長糸は新設された「弾性を有するもの」に殆んどが分類され、統計に上がっていると推測されるので、特に、ポリウレタン長糸の正確な実績は不明である。

参考までに「弾性を有するもの」の今年の輸出実績は次のとおり。

2007年1月870トン、698万ドル	2月850トン、718万ドル
3月1,544トン、1,266万ドル	4月1,069トン、946万ドル
5月1,158トン、1,016万ドル	6月1,424トン、1,157万ドル

糸の輸出は、綿糸、人絹糸が増加推移、主力の合繊長繊維系が数量減の金額増、合繊短繊維系が減少推移となり、全体では数量で2%微減の11,396トン、但し、金額では4%増の8,021万ドルとなった。

品目別では、主要品目の中でナイロン長繊維系は、シェア77%の東アジアは、中国、フィリピンは低調な推移となったが、最大市場のタイ、香港、インドネシアが健闘し、12%増の1,639トンとなった。その他では、シェア12%の欧州は、ドイツ、オランダ、ポーランド、ポルトガルを中心に横ばい推移、シェア4%の西アジアは、アラブ首長国が減少して40%減となり、全体では数量で1%増の2,033トン、金額で6%増の1,410万ドルとなった。品目別では、タイヤコード用等の「強力糸」がシェア55%を占め、数量で10%減の1,136トン、一方、衣料用途用等の「その他糸」は19%増の897トンとなった。

ポリエステル長繊維系は、シェア58%の東アジアは最大市場の中国が減少したが、台湾、タイ、香港、韓国、インドネシアが好調に推移し、5%増の1,705トンとなった。その他ではシェア19%の米国は8%減、またシェア18%の欧州は、ドイツ、トルコは増加したが、オランダ、ポルトガルが減少し34%減となり、全体では、数量で15%減の2,850トン、金額も8%減の1,210万ドルとなった。品目別では、「その他糸」がシェア69%を占め、17%減の1,958トン、「強力糸」は10%減の891トンとなった。その他では、アクリル長繊維系は、主力の欧州向けでフランスが大幅増加となったが、ドイツ、イタリア、英国が壊滅状況となり24%減、また韓国、米国も不振推移で、全体では数量で24%減の1,255トン、金額で9%減の711万ドルとなった。

この結果、合繊長繊維系全体では、数量で3%減の9,290トン、金額は、単価の上昇により、5%増の6,164万ドルとなった。

天然繊維関係では、綿糸は、最大市場の中国が43%増と大幅に増加し、香港は49%減とほぼ半減したが、全体では数量で29%増の491トン、金額は8%増の280万ドルとなった。この香港、中国の2カ国で全体の88%を占めている。

Ⅲ. 織・編物(絹・化合織・綿・毛)の輸出

6月の織物(絹・化合織・綿・毛)の輸出は、人絹織物が好調に推移したが、主力のポリエステル(長・短)織物、ナイロン長繊維織物、綿織物等総じて伸び悩んだ。但し、減少幅は各々軽微に止まったことから、織物トータルでは、数量で前年同月比4%減(前年同期比：4%減)、金額で5%減(同2%減)と比較的小幅な減少に止まった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地は堅調に推移、また、コー

テッド織物は、数量増の金額減となった。

市場的には、織物トータルでは、主力の東アジアは、主要国では、韓国とタイが数量、金額共に前年同月を上回り好調に推移した。一方、中国、香港、ベトナム、台湾、シンガポール、インドネシア、マレーシアは数量、金額共に前年同月を下回り、フィリピンは数量減の金額増となった。

また、純輸出市場について、西アジアでは、サウジアラビアは、数量減の金額増となったが、アラブ首長国は数量、金額共に2桁の増加を持続している。

また、欧米市場では、EUは、数量、金額共に前年を上回り好調に推移している。一方、米国は量的には綿織物の健闘より前年を上回ったが、単価が低下し、金額は減少推移となった。

I. 各品目の輸出状況

(単位：1000SM、1000\$、前年比は数量比%)

	2007年6月			2007年1-6月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	626	8,778	98	3,589	51,308	89
人絹織物	8,185	21,653	117	37,242	108,094	105
スフ織物	1,035	3,906	108	4,813	18,280	97
合織(長)織物	59,775	119,567	98	263,712	523,303	96
ポリ(長)織物	47,019	86,934	99	196,876	368,482	94
ナイロン織物	7,268	15,201	96	32,673	63,627	94
合織(短)織物	16,236	33,466	99	88,392	176,254	101
ポリ(短)織物	14,917	30,445	94	81,396	161,515	99
綿織物	27,382	83,166	89	148,802	454,158	92
毛織物	4,920	31,656	86	18,223	111,185	98
コーテッド織物	2,107	43,635	106	10,371	227,855	115
ニット生地	19,219	67,930	102	94,159	311,752	102

(注) 1. ポリエステル(長)、ナイロン(長)織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

II. 品目別特記事項

ポリエステル長繊維織物

ポリエステル長繊維織物の6月の輸出は、数量で前年同月比1%減(前年同期比:6%減)、金額で2%減(同1%減)と数量、金額共に微減推移となった。

数量で全体の72%を占める東アジアは、主要市場では、最大市場の中国が1%増(同5%減)、韓国40%増(同4%減)、タイ16%増(同1%減)、シンガポール43%増(同7%減)、マレーシア20%増(同7%減)と健闘し、ベトナムは横ばい(同19%増)、香港22%減(同9%減)、台湾35%減(同26%減)、フィリピン26%減(同4%減)、インドネシア46%減(同40%減)、スリランカ51%減(同50%減)と各々減少したが、東アジア全体として1%増(同5%減)の微増となった。

純輸出市場は、西アジア向けは、アラブ首長国が20%増(同13%増)と好調に推移したが、

サウジアラビア 34%減（同 27%減）と大幅に後退し、西アジア全体として 10%減（同 15%減）となった。

一方、欧米先進国市場は、米国が 10%減（同 12%減）と低迷しているが、EU は 1%増（同 2%減）と微増推移となった。

EU の主要国別では、英国が 15%増（同 10%増）、フランス 50%増（同 14%減）、ドイツ 24%増（同 16%増）、スペイン 5%増（同 22%減）と各々好調に推移したが、イタリアは 31%減（同横ばい）、ベルギー 97%減（同 33%減）と激減した。

ポリエステル（長）織物の 1-6 月の加工別輸出を見ると、太宗の浸染品は 2%減、プリント品が 5%減、生機・晒品が 25%減と各々減少推移、一方、糸染品は 14%増となっている。

ポリエステル短繊維織物

6 月のポリエステル短繊維織物の輸出は、数量で 6%減（同 1%減）、金額で 5%減（同 1%増）と数量、金額共に低調な推移となった。

市場的には、シェア 57%の東アジアと同 42%の西アジアの両地域向けでほぼ全量を占めている市場構成に変わりはないが、5 月は西アジアが 2 桁の増加を記録したのに対し、東アジアは 2 桁の減少と対照的な推移となった。

東アジア向けについては、主要国では、インドネシアが 43%増（同 29%減）と健闘したが、最大市場の中国が 8%減（同 7%減）、香港 54%減（同 21%減）、韓国 96%減（同 26%増）、ベトナムが 5%減（同 13%増）、シンガポール 40%減（同 8%増）と各々低調な推移となり、東アジア全体として、15%減（同 6%減）となった。

民族衣装用中心の西アジア向けは、サウジアラビアが 12%増（同 12%増）、アラブ首長国が 28%増（同 21%増）、クエート 47%増（同 15%増）と主要国は揃って好調に推移し、西アジア全体として 16%増（同 7%増）となった。

品目別にポリエステル（短）織物の 1-6 月の輸出を見ると、太宗の T/C 織物が 7%減、100%スパン織物が 1%減、T/R 織物は 12%減となっているのに対し、その他交織織物が 14%増と 2 桁の増加を記録し健闘している。

その他絹化合繊維織物

ナイロン織物の 6 月の輸出は、数量で 4%減（同 6%減）、金額では 7%増（同横ばい）と数量減の金額増となった。

全体の 82%と圧倒的なシェアを占める東アジアは、最大市場の中国が 9%増（同横ばい）、韓国 25%増（同 1%減）と増勢で推移したが、香港が 27%減（同 34%減）、ベトナム 28%減（同 17%減）と減少し、東アジア全体として 4%減（同 9%減）となった。

一方、欧米市場は、シェア 6%の EU は 35%増（同 107%増）と好調を持続しているが、同じくシェア 6%の米国は 5%減（同 6%増）となった。

加工別の 1-6 月の輸出は、太宗の浸染品が 4%増、一方、生機・晒品は 23%減となっている。

人絹織物の 6 月の輸出は、数量で 17%増（同 5%増）、金額で 2%増（同 1%減）と数量、金額共に増勢推移となった。

全体の 73%を占める東アジア向けは、最大市場の香港が 23%増（同 12%増）と大きく伸びた他、中国 14%増（同 4%増）、韓国 58%増（同 45%増）、台湾 11%増（同 8%減）と各々好調に推移し、東アジア全体として 17%増（同 4%増）となった。

東アジア以外の市場では、シェア 13%の西アジアは、サウジアラビアが 30%増（同 3%増）と増加し、アラブ首長国が 1%減（同 9%増）と後退したが、全体として 12%増（同 9%

増)となった。

一方、欧米市場は、シェア 4%の米国は 43%増(同 9%増)と大きく増加、同じくシェア 4%の EU も 29%増(同 7%増)と好調な推移となった。

1-6月の素材別輸出では、全体の 54%のシェアを占めるアセテート織物は横ばい、同 8%のビスコース織物は 7%減となっているが、同 36%のキュプラ織物は 19%増と 2桁の増加となっている。

加工別では、太宗の浸染品は 6%増、生機・晒品が 9%増、糸染品が横ばいとなっているが、プリント品は 48%減と激減している。

スフ織物の 6月の輸出は、数量で 8%増(同 3%減)、金額で 3%減(同 2%増)と数量増の金額減となった。

全体の 84%を占める主力の東アジア向けは、圧倒的シェアを占める持ち帰り用中心の中国が 25%減(同 8%減)となったが、香港が 104%増(同 109%増)と著増し、東アジア全体として横ばい(同 6%増)となった。

その他主要市場では、量的には僅少であるが、シェア 8%の米国は 58%増(同 10%減)の大幅増、シェア 7%の西アジアも 117%増(同 23%減)の著増となった。

絹織物の 6月の輸出は、数量で 2%減(同 11%減)、金額で 7%減(同 10%減)と数量、金額共に低調な推移となった。

全体の 93%を占める東アジア向けは、最大輸出国のベトナムが 6%増(同 5%減)と健闘したが、中国が 10%減(同 21%減)、香港 26%減(同 22%増)と減少し、東アジア全体として 3%減(同 10%減)となった。

その他市場では、量的に僅少であるが、シェア 5%の民族衣装用主体の西アジアは、アラブ首長国が増加し、全体として 81%増(同 32%減)となった。

綿織物

綿織物の 6月の輸出は、数量で 11%減(同 8%減)、金額で 12%減(同 8%減)と、数量、金額共に 2桁減と低調な推移となった。

全体の 82%と圧倒的なシェアを占める東アジア向けは、主要国では、ベトナムが 7%増(同 24%増)、タイ 3%増(同 18%減)、台湾 24%増(同 3%減)と増勢で推移したが、最大市場の中国が 15%減(同 15%減)、香港 26%減(同 2%減)、韓国 18%減(同 14%減)、マレーシア 17%減(同 8%減)、フィリピン 4%減(同 12%増)と各々低迷し、東アジア全体として 14%減(同 11%減)となった。一方、シェア 12%の米国は 14%増(同 8%増)と好調な推移となった。

1-6月の加工別輸出では、太宗の糸染品は 8%増と健闘しているが、浸染品は 10%減、プリント品は 18%減、晒品は 24%減、生機品は 36%減と何れも減少推移となっている。

コーテッド織物

6月のコーテッド織物の輸出は、数量で 6%増(同 15%増)、金額で 4%減(同 15%減)と数量増の金額減となった。

全体の 82%のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国が 11%増(同 21%増)、タイ 56%増(同 21%増)、インドネシア 13%増(同 19%増)と好調に推移し、ベトナムは横ばい(同 37%増)、香港 24%減(同 6%減)、台湾 28%減(同 100%増)と減少したが、東アジア全体として 4%増(同 15%増)となった。

一方、欧米市場は、シェア 6%の米国は 40%増(同 56%増)と大幅に伸びたが、シェア 5%の EU は 16%減(同 3%増)と減少推移となった。

毛織物

6月の毛織物の輸出は、数量で14%減（同2%減）、金額で16%減（同5%減）と数量、金額共に2桁の減少となった。

市場的には、東アジアが95%とほぼ全量を占めている。主要国ではベトナムが39%増（同62%増）と唯一健闘したが、最大市場の中国が15%減（同3%減）、香港16%減（同1%増）と減少し、東アジア全体として14%減（同2%増）となった。

ニット生地

ニット生地の6月の輸出は、数量で2%増（同2%増）、金額で3%増（同4%増）と数量、金額共に堅調な推移となった。

市場的には、東アジアが圧倒的なシェアを占めているが、これを主要国別に見ると、全体の62%のシェアを占める最大市場の中国が8%増（同7%増）、香港3%増（同11%減）、インドネシア25%増（同25%増）と好調に推移した。一方、ベトナムは1%減（同12%減）、韓国は38%減（同14%増）、タイ7%減（同22%減）、台湾33%減（同18%減）と各々低調な推移となった。

また、欧米先進国向けは、米国は15%減（同26%増）と減少に転じたが、EUは37%増（同30%増）と大幅な増加となった。

IV. 主要繊維二次製品の輸出

<概況>

繊維二次製品の2007年6月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは、布帛製外衣が増勢で推移したが、布帛製下着、ニット製外衣・下着が低調な推移となり、全体では前年同月比1%微減の2,454万ドルとなった。他方、その他の品目については、敷物が増加推移、漁網・その他の網・網地及び細幅織物・紐類は減少推移となった。2007年6月の主要繊維二次製品輸出状況

<アパレル>

布帛製外衣：主要市場では、最大市場の米国が56%増と大幅な増加を記録したのを始め香港9%増、韓国69%増と各々好調に推移した反面、台湾が30%減、中国26%減と減少したが、全体として23%増の1,010万ドルと大幅な増加となった。なお、この6カ国・地域で全体の94%を占めている。

布帛製下着：主要市場では、シンガポールが798%増、タイ729%増と各々著増し、その他では、韓国20%増、EU10%増、米国24%増と健闘したが、最大市場の台湾が49%減、香港が56%減とほぼ半減し、全体として15%減の307万ドルとなった。なお、この7カ国・地域で全体の91%を占めている。

布帛製スカーフ・マフラー類：最大市場のアラブ首長国が15%減、米国49%減、EU36%減と、主要国は何れも減少し、全体では、31%減の55万ドルとなった。

ニット製外衣：主要市場では、香港が43%増、韓国57%増と大幅増加となったが、一方、台湾は26%減、中国81%減、EU25%減、米国31%減と各々大きく減少し、全体では21%減の231万ドルとなった。なお、この6カ国・地域で全体の97%を占めている。

ニット製下着：主要市場では、EUが185%増と著増した以外は、韓国が横ばい、最大国の台湾は24%減、香港41%減、中国22%減、米国33%減と、軒並み低調な推移となり、全体では13%減の317万ドルとなった。なお、この6カ国・地域で全体の89%を占めている。

単位：千ドル、金額：前年比%

	2007年6月		2007年1～6月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	15,834	104	102,463	107
外 衣	10,102	123	62,512	112
下 着	3,073	85	24,049	106
スカーフ・マフラー	549	69	3,264	94
ニット製衣類・付属品	8,701	90	67,559	99
外 衣	2,313	79	20,664	96
下 着	3,171	87	31,771	99
敷 物	2,434	110	15,875	111
漁 網 ・ 網 ・ 網 地	3,360	93	21,198	93
細 幅 織 物 ・ 紐 類	16,233	88	86,221	96

<敷物>

主要国では、最大市場の中国が23%減、台湾38%減、香港30%減と不振推移となったが、ベトナムが54%増、タイ837%増、フィリピン85%増、米国115%増と各々大幅な増加となり、全体では10%増の243万ドルとなった。

<漁網・その他の網・網地>

主要国では、最大市場のベトナムが29%減、香港60%減、ロシア90%減、米国77%減と大幅に減少し、中国が85%増、韓国37%増、台湾19倍増、フィリピン26倍増、EU2%増、チリも前年同月のゼロから著増したが、全体では7%減の336万ドルとなった。

<細幅織物・紐類>

主要国では、EUが23%増、シンガポール102%増、フィリピン75%増と健闘したが、最大市場の中国が14%減となったのを始め、香港19%減、ベトナム13%減、タイ39%減、米国16%減と何れも低調な推移となり、全体では12%減の1,623万ドルとなった。

◎ 2007年5月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

5月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比115.3%（前月比は85.2%）、ドルベース同106.5%（前月比は83.8%）、数量(重量)同107.3%（前月比は92.2%）となり、円金額が2ヶ月続けて増加、ドル金額および数量も2ヶ月連続で増加した。前月比は、金額、数量(重量)ともに春夏物から秋冬物への端境期を迎え減少。

糸類は数量で前年同期比12.3%増と11ヶ月続けて増加。内訳は、毛糸、綿糸、人織(長)糸、人織(短)糸、その他の糸が増加、絹糸が減少した。織物類は同5.8%増と2ヶ月続けて増加

した。黄麻織物、人織(長)織物、人織(短)織物、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、綿織物、メリヤス生地が減少した。衣類は同6.2%の増加となり3ヶ月ぶりに増加。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同7.4%増で2ヶ月連続の増加となった。

前月は前年同期比で円金額が2.8%増、ドル金額も1.3%増、数量も1.0%の増加となったが、今月は円金額が15.3%の二桁増、ドル金額も6.5%増、数量も7.3%の増加となり、揃って前月以上の増加幅を示した。なお、5月の為替相場は、前年同月比9円22銭円安の120円73銭。ドル金額の内訳を見ると、糸類が8.8%の増加、織物類は5.2%減、太宗を占める衣類は7.0%の増加、二次製品も9.8%増加し、繊維製品計では6.5%の増加となった。

2. うち糸類

▶ 綿糸の輸入実績は、トンベースで低水準輸入ながら前月比6.2%増、前年同月比も3ヶ月連続増の20.4%の大幅増となった。これは、需要が端境期にあるものの供給も細っていることで国内綿糸相場が堅調に推移していることによるものと思われる。全体の83%を占める純綿糸を前月に比べると、国別では首位のパキスタンが39.7%の大幅増となったのをはじめ2位の中国(前月4位)が36.7%、3位のインドネシアも6.9%増加となったものの、他方前月2位のインドは31.1%ダウンし4位に転落した。番手別に見ると20番手中心が53.1%、40番手中心も1.5%と僅かではあるがプラスとなったが、30番手中心は1.7%、40番手中心も4.9%それぞれ減少した。糸種別にみるとカード糸が35.1%の大幅増となったもののコマ糸は3.9%の減少となった。混紡綿糸は前月比9.4%の減少となった。

▶ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース3.6%増と2ヶ月続けて増加となった。糸種別に見ると、紡毛糸が同34.8%増と17ヶ月連続で増加、太宗を占める梳毛糸も同1.6%増となった。国別では、トップシェアの中国が同9.1%増と2ヶ月連続で増加した一方、第2位のマレーシアは同1.8%減少した。この他の主要国では、台湾、インドが増加、タイ、イタリア、ペルーからの輸入は減少。

▶ 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比横這いに留まったが、前年同月比は7.0%増となり8ヶ月連続のプラスとなった。主要商品を前月に比較すると、量的に少ない人絹糸は23.8%減となったものの、主力商品のポリエステル糸は僅かではあるが1.7%、ナイロン糸も5.0%それぞれ増加となった。一方、人織(短)糸はガムテープ用のスフ糸が4.5%の減少となったが、主力のT/C、T/Rのポリエステル紡績糸が5.8%増、最近低調な輸入が続いているアクリル紡績糸も46.8%の大幅増となる等全体では前月比9.8%増、前年同月比も20.0%のプラスとなり2ヶ月ぶりに増加した。

3. うち織物類

▶ 綿織物の輸入実績は、面積ベースで年初来の低水準輸入の反動もあり前月比は15.5%のプラスとなったものの、前年同月比は4.6%のマイナスとなった。国別に前月に比較すると、全輸入量の4分の3を占める中国が17.8%、2位のインドネシア17.1%、3位のパキスタンは78.8%の大幅増となり主要国が軒並み増加となった。品種別にみると、主力のポップリンが33.4%、金巾7.0%、粗・細布25.3%と3大商品はそろって増加となった。

▶ 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比4.3%減少し、8ヶ月続けて減少となった。

中国からの輸入が同 0.7%減とほぼ横ばいながら 8 ヶ月連続の減少、イタリアからの輸入も 2.6%減となった。また、第 3 位のイギリスは同 1.1%増で 3 ヶ月続けて増加。品種別では、紡毛織物が同 50.3%減と 4 ヶ月続けて減少、主力の梳毛織物は同 3.6%減と 8 ヶ月続けて減少した。

- ▶ 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比 9.5%減となったものの、前年同月比は 21.2%増と 7 ヶ月連続プラスとなった。前月に比較すると、商品別では量的に少ないナイロン織物は 81.3%の減少、主力商品のポリエステル織物が 16.9%、ポリプロピレン等その他織物も 1.6%の減少となった。国別にみると最大の輸入国でポリエステル織物の中国が 22.3%減となったものの、2 位の韓国は 11.9%、3 位の台湾も 18.8%それぞれ増加となった。一方、人織(短)織物は主力商品のポリエステル織物が T/C, T/R 織物の増加もあり 14.6%増、スフ織物も 6.4%増となり全体では 12.5%のプラス、前年同月比も 11.4%の増加となった。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で 11.3%増、布帛製衣類は同 1.3%減、身の廻り品は重量ベース 6.1%増加し、衣類計で重量ベース 6.2%増加となった。ニット製衣類が 2 ヶ月続けて増加し、布帛製衣類は 3 ヶ月続けて減少、身の廻り品は 3 ヶ月ぶりに増加、衣類計も 3 ヶ月ぶりに増加した。

主要国別に見ると

- ▶ 中国は対前年同月比(枚数)でニット製衣類が 12.7%増加し 2 ヶ月続けて増加、布帛製衣類は 1.8%減で 3 ヶ月連続の減少、身の廻り品は重量ベース 7.9%増で 3 ヶ月ぶりに増加した。今年 1～5 月の衣類計(重量)のシェアは 90.8%で前月から 0.1 ポイント増(金額ベースでのシェアは 82.8%で前月から 0.5 ポイント増)。
- ▶ 韓国はニット製衣類が同 5.2%増加、布帛製衣類は同 28.3%の大幅減となり、ニット製衣類は 2 ヶ月連続で増加、布帛製衣類は 13 ヶ月連続で減少した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同 14.5%減と 4 ヶ月続けて減少、布帛製衣類は同 9.2%増加となり 7 ヶ月ぶりに増加した。
- ▶ ベトナムはニット製衣類が同 5.4%減と 2 ヶ月ぶりに減少、布帛製衣類は同 20.4%増となり 2 ヶ月続けて増加した。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではズボン、ドレス、アウターシャツ、セーター、スポーツウェア、下着類が増加、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、スカートが減少となった。中でも、ドレスは対前年同月比(枚数) 123.0%増と引き続き大幅増を続けている。布帛製外衣類では紳士用が同 0.3%減、婦人用も同 2.6%減少した。紳士用では、スーツ、アンサンブル、ジャケットが増加、コート、ズボンが減少、下着類はほぼ横ばい、婦人用はドレス、下着類が増加したものの、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、スカート、ズボン、ブラウスが減少となった。

前月は数量が対前年同月比 1.0%増、金額も円ベースで 2.8%、ドルでも 1.3%増加となったが、今月は数量が 7.3%増、金額も円ベースで 15.3%、ドルでも 6.5%増加となり、前月に引き続き数量、金額とも増加となった。

中国からの輸入に関しては為替の人民元高や7月からの増値税還付率引き下げ、加工貿易制度の変更による保証金負担の増大など収益を圧迫する要因が続く中で、アセアンからの輸入が増加している。今年1～5月の繊維製品輸入は金額で円ベース10.3%増と全輸入の4.1%増を上回り（ちなみに中国は4.7%増）、中でもチャイナプラスワンの有力候補として注目されるベトナムからは16.6%増となっている。



◎ 中国、2007年1-6月の繊維品貿易概況

―輸出は19%増の713億3,709万ドルと高率の伸びを維持―

2007年1-6月の中国の繊維品輸出は、前年同期比19%増の713億3,709万ドルと1-5月の伸びを2ポイント上回り、昨年同期の25%増には及ばないが、高率の伸びを維持している。これを月別の伸びでみると、本年1月の伸びは前年同月比20%増、2月は同74%増と飛躍的に伸び、3月は同23%減と一転して大幅に減少し先行きが注目されたが、4月は17%増、5月は19%増、6月は26%増と再び増勢傾向を強めている。しかし、6月の高率の伸びは、7月から実施された増値税の還付率引き下げ前の駆け込み輸出の増大が、その大きな要因と考えられており、今後は伸びは鈍るものと予想されている。

<地域別・国別輸出状況>

地域別では東アジアがシェア38%（前年同期比8%増）、ヨーロッパが同25%（同15%増）、北米が同17%（同37%増）、西アジアが同7%（同41%増）、中米が同3%（同35%増）、南米が同2%（同24%増）、アフリカが同6%（同43%増）、大洋州が同2%（同12%増）の市場構成となっており、各地域共に軒並み増勢推移となっているが、特に北米、西アジア、アフリカ向けが、高い伸びを記録している。

国別では、1位EU（114億8,750万ドル：1%減）、続いて米国（99億1,547万ドル：33%増）、香港（87億2,732万ドル：6%増）、日本（85億1,081万ドル：2%増）、ロシア（29億2,765万ドル：70%増）、韓国（24億3,464万ドル：1%増）、カナダ（20億1,773万ドル：61%増）、アラブ首長国（17億9,467万ドル：49%増）、トルコ（14億6,806万ドル：73%増）、シンガポール（13億8,644万ドル：43%増）、オーストラリア（12億2,628万ドル：12%増）、メキシコ（8億5,825万ドル：17%増）、南アフリカ（8億5,582万ドル：35%増）の順となっている。

国別でも軒並み増加推移となっているが、東アジア向けはシンガポールを除き、香港、日本、韓国等は低い伸びに止まっているのに対し、北米の米国、カナダ、ヨーロッパのロシア、トルコ、またアラブ首長国、南アフリカが大幅に伸びているのが1-6月の国別輸出推移の特徴である。またEUは微減となっているが、今年からEUに加盟したルーマニア、ブルガリアが、昨年の著増から、今年は一転して激減しているのが大きな要因である。

<品目別輸出状況>

品目別では、中国の繊維品輸出全体の64%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は、24%増の456億4,444万ドルと、全体の伸びを上回り、中国の繊維品輸出を牽引している。

2007年1～6月 中国の繊維品輸出・入

単位：1000ドル

	輸 入				輸 出				前年比
	2006年		2007年1～6月		2006年		2007年1～6月		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計		25,683,011		12,403,101		71,337,086		119	
原料(綿)合計	TON	5,410,841	8,183,573	2,123,296	12,403,101	332,147	908,698	144	
スフ綿	TON	116,827	344,456	56,821	176,667	53,820	103,663	256	
合繊綿	TON	624,567	1,125,033	296,143	585,970	215,464	285,286	136	
(ポリエステル)	TON	262,942	341,165	113,908	159,958	188,332	211,241	137	
(アクリル)	TON	337,144	687,536	167,064	363,864	1,669	4,075	206	
糸合計	TON	1,758,737	4,328,168	888,895	2,243,046	1,023,623	3,497,632	119	
人絹糸	TON	28,037	85,799	14,309	43,942	53,700	213,940	124	
スフ糸	TON	27,651	96,447	13,360	52,194	29,095	106,500	155	
合繊長繊維糸	TON	595,118	1,550,919	270,517	736,375	386,194	938,019	140	
(ナイロン)	TON	266,533	755,981	115,484	338,253	49,606	179,416	104	
(ポリエステル)	TON	271,784	486,182	125,679	231,874	277,801	471,954	142	
合繊短繊維糸	TON	127,743	352,440	69,460	196,291	216,692	630,114	114	
綿糸	TON	938,218	2,004,437	498,525	1,081,246	291,339	956,351	104	
繊維品合計	千L	4,373,611	5,978,753	1,986,365	2,847,437	8,299,430	8,252,387	96	
絹織物	千L	37,739	107,364	15,652	42,900	104,889	339,421	96	
人絹織物	千L	79,687	142,986	38,833	72,900	19,254	17,488	95	
スフ織物	千L	46,173	89,513	18,808	39,142	393,515	304,954	80	
合繊長繊維織物	千L	1,925,006	2,017,757	890,723	988,118	2,900,787	2,254,606	95	
(ナイロン)	千L	547,503	547,808	247,705	263,505	96,618	61,634	70	
(ポリエステル)	千L	969,722	1,047,800	436,813	503,757	2,475,077	1,915,629	97	
合繊短繊維織物	千L	623,181	780,132	269,282	366,887	1,824,090	1,498,928	98	
綿織物	千L	1,498,337	2,183,698	689,774	1,068,173	2,899,009	3,359,603	101	
毛織物	千L	68,320	514,391	28,045	211,249	49,231	277,999	100	
不織布	TON	153,255	596,913	74,411	313,453	101,572	252,927	109	
タイヤコード織物	TON	18,241	74,230	8,914	36,934	41,638	139,243	108	
コートコード織物	TON	239,554	1,075,922	112,224	572,173	320,120	815,682	115	
ニット生地	TON	487,987	2,153,487	865,781	1,135,346	2,102,104	2,656,680	386	
ニット製衣料			716,671		345,260		24,842,966	137	
布帛製衣料			867,856		426,387		43,709,665	112	
その他			1,707,439		850,995		9,169,387	111	

出所：中国海商統計

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が37%増の248億4,297万ドル、布帛製衣料品及び同付属品の輸出は12%増の208億148万ドルで、特にニット衣料品が高率の伸びとなっているのが目立っている。

衣料品の主要輸出先は、ニット製衣料品は、トップ市場は日本(34億5,186万ドル:8%増)、続いてEU(31億7,993万ドル:23%減)、米国(29億5,645万ドル:84%増)、香港(24億5,859万ドル:18%増)、ロシア(17億351万ドル:112%増)、カナダ(11億611万ドル:157%増)、アラブ首長国(8億130万ドル:127%増)、韓国(6億5,675万ドル:7%減)、パナマ(5億5,914万ドル:195%増)、オーストラリア(5億3,822万ドル:14%増)の順となっており、米国、ロシア、カナダ、アラブ首長国、パナマは大幅増加、一方、EUは2桁の減少となっている。

布帛製衣料品の輸出先は1位がEU(48億8,800万ドル:9%増)、以下、米国(41億2,329万ドル:32%増)、日本(36億735万ドル:1%減)、香港(19億653万ドル:3%増)、韓国(7億3,319万ドル:2%増)、ロシア(6億8,870万ドル:19%増)、カナダ(6億2,920万ドル:14%増)、オーストラリア(3億9,706万ドル:9%増)、パナマ(3億5,479万ドル:34%増)、スイス(3億2,629万ドル:60%増)の順となっている。

衣料品以外の素材輸出は、原料類(綿・糸)は好調に推移しているが、織物類は伸び悩んでいる。

織物類の輸出は、太宗の綿織物は若干の増加となっているが、合繊長繊維織物及び合繊短繊維織物が特に量的に揃って伸び悩み、全体として、数量で4%減の82億9,943万メートル、金額で2%増の82億5,239万ドルと数量減の金額増となった。

糸類の輸出は、各品目共に増勢で推移しており、合繊長繊維糸、中でも特にポリエステル長繊維糸の伸びが大きく、またその他の綿糸、合繊短繊維糸も増勢を維持しており、全体として数量で19%増の102万3,623トン、金額で15%増の34億9,763万ドルと、数量、金額共に増加推移となっている。

綿類の輸出は、天然繊維、ポリエステル綿を中心とする合繊綿、またスフ綿の輸出が共に大増勢で推移しており、数量で44%増の33万2,147トン、金額で44%増の9億870万ドルと、規模は未だ小さいが、高い伸びを維持している。

<輸入は7%減の124億310万ドルと低調に推移>

一方繊維品輸入は、綿類の輸入が、綿花輸入の急減もあり大幅に減少、糸類、織物類は共に数量減の金額微増となっているが、全体として7%減の124億310万ドルと低調な推移となっている。

この結果、中国の2007年1-6月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同期比26%増の589億3,399万ドルとなった。

<地域別、国別輸入状況>

地域別では東アジアがシェア71%(前年同期比:2%増)を占め、西アジアが同2%(同43%減)、ヨーロッパが同8%(同17%増)、北米が同8%(同47%減)、中米が同0.2%(同42%減)、南米が同1%(同41%減)、アフリカが同2%(同48%減)、大洋州が同7%(同31%増)の市場構成となっており、東アジア、ヨーロッパ、大洋州からの輸入は増加しているが、北米からの減少が目立っている。

国別では、1位日本(17億928万ドル:横ばい)、台湾(16億6,661万ドル:1%減)、

韓国（13億4,970万ドル：横ばい）、EU（12億2,338万ドル：16%増）、米国（10億2,608万ドル：47%減）、香港（8億4,527万ドル：5%減）、オーストラリア（8億2,759万ドル：34%増）、インド（5億8,468万ドル：5%減）、パキスタン（3億9,280万ドル：10%増）の順となっている。米国の急減は、綿花の輸入減が最大の要因である。

<品目別輸入状況>

品目別輸入を見ると、綿関係では、天然繊維の輸入は米国よりの綿花の輸入が大きく減少し、また、合繊綿の輸入も低調で、数量で37%減の212万3,296トン、金額で26%減の36億3,207万ドルと大幅な減少となった。

糸関係は、太宗の綿糸は微増推移となっているが、合繊短繊維糸、合繊長繊維糸は共に低調な推移となっており、全体として数量で横ばいの88万8,895トン、金額で2%増の22億4,305万ドルとなった。

一方織物類は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物が何れも数量減の金額増となっており、トータルでは、数量で4%減の19億8,637万メートル、金額で3%増の22億9,851万ドルと数量減の金額増となった。

その他品目では、ニット生地が金額で15%増の11億3,535万ドル、コーテッド織物が4%増の5億7,217万ドルと増勢で推移している。

また衣料品は、額は小さいが、ニット製衣料品が2%増の3億4,526万ドル、布帛製衣料品が5%増の4億2,639万ドルと何れも着実に増加している。



韓国

◎ 韓国の2007年(1-6月)の繊維品貿易概況

<輸出は前年同期比4%増の66億2,396万ドルと増加傾向を継続>

韓国の繊維輸出は、中国を始めとする東アジア諸国との競合の激化等により、過去4年連続の減少を余儀なくされているが、2007年1-6月の輸出は4%増の66億2,396万ドルと徐々に増加傾向を維持している。

地域別では、主要地域では、シェア56%を占める東アジア向けは3%増の36億8,099万ドル、同14%の北米が11%減の9億1,495万ドル、同13%の欧州が24%増の8億9,409万ドル、同7%の西アジアが横ばいの4億6,415万ドルとなっており、枠が撤廃された、欧米市場では、欧州が大幅に増加しているのに対し、北米が2桁の減少と対照的な推移となっているのが注目される。

主要国では、第1位市場の中国は横ばいの13億9,129万ドルと伸び悩み、続く米国が12%減の8億5,750万ドルと2桁の減少となっているが、第3位のEUは28%増の6億6,008万ドルと大幅な増加となっている。中国に枠が再設定された優位性をEU向けは享受し、逆に米国向けは苦戦している。以下、ベトナムが14%増の4億9,691万ドル、香港が12%増の4億5,377万ドル、インドネシアが9%増の3億8,655万ドル、日本が1%増の3億2,426万ドル、アラブ首長国が2%増の1億7,080万ドルの順となっている。

2007年1～6月の韓国の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル

	輸 入				輸 出					
	2006年実績		2007年(1～6)		2006年実績		2007年(1～6)		前年比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		
繊維品合計										
原料(綿)合計	TON	7,983,531	180,091	4,082,939	TON	13,010,448	6,823,964	111	123	
スフ綿	TON	322,484	700,792	180,091	4,082,939	TON	663,931	899,183	367,206	111
合繊綿	TON	47,561	124,840	24,609	66,561	TON	7,609	31,522	3,487	91
(ポリエステル)	TON	15,413	40,711	7,058	20,956	TON	643,682	850,520	355,882	111
(アクリル)	TON	3,768	6,215	1,718	3,632	TON	566,256	710,746	311,682	110
糸合計	TON	6,637	16,010	2,285	5,725	TON	37,694	73,537	21,782	125
人絹糸	TON	565,390	1,656,444	292,204	852,085	TON	399,667	1,296,856	196,469	96
スフ糸	TON	25,268	111,896	13,129	60,534	TON	983	8,450	639	136
合繊長繊維系	TON	20,942	56,896	11,652	35,013	TON	5,910	33,778	6,820	208
(ナイロン)	TON	149,751	410,560	96,003	253,026	TON	346,440	1,025,892	166,501	94
(ポリエステル)	TON	22,934	98,336	10,839	52,031	TON	62,143	223,600	31,386	104
合繊短繊維系	TON	108,894	182,489	75,958	128,417	TON	234,409	505,400	109,155	90
綿糸	TON	135,578	351,884	67,256	177,286	TON	15,447	89,790	6,465	87
織物合計	TON	220,395	592,648	98,000	266,746	TON	26,007	89,676	16,209	118
絹織物		1,058,256		517,184			2,857,823	1,389,557		97
人絹織物		98,777		44,312			125,582	54,886		88
スフ織物	千SM	4,440	2,597	8,237	95	千SM	185,632	141,996	95,543	110
合繊長繊維織物	千SM	293,563	158,900	217,863	16,290	千SM	1,819,178	1,555,135	2,505,797	98
(ナイロン)	千SM	53,709	14,966	3,982	92,963	千SM	168,968	119,177	73,364	72
(ポリエステル)	千SM	190,357	100,302	164,413	59,803	千SM	1,319,203	1,201,930	2,271,316	98
合繊短繊維織物		161,146		82,411			201,190	90,064		90
綿織物		398,895		194,241			607,970	288,852		97
毛織物		150,969		56,588			70,341	34,539		99
不織布	TON	30,300	140,353	15,755	74,554	TON	79,591	438,220	41,290	104
タイヤコード織物		67,448		40,652			290,898	155,048		103
コートッド織物		69,289		37,219			835,623	439,695		99
ニット生地		83,568		41,929			2,899,078	1,585,487		114
ニット製衣料		1,049,479		565,488			1,172,501	500,346		92
布帛製衣料		2,443,854		1,199,612			799,205	355,956		91
その他		714,048		369,338			1,521,261	747,416		97

(注)ポリエステル長繊維織物の輸出数量に疑義があるが韓国統計原本どおり。

出所:韓国通関統計

品目別輸出では、原料関係では、綿類の輸出は、数量で11%増の36万7,206トン、金額では23%増の5億2,871万ドルとなった。太宗品目の合繊綿は、中心品目のポリエステル綿、また、アクリル綿が共に好調で、数量で11%増の35万5,882トン、金額で25%増の5億513万ドルとなった。合繊綿の最大市場（金額ベース）はEUで74%増の1億2,523万ドルと大幅に増加、続いて米国が22%増の1億249万ドル、中国が11%増の9,794万ドル、イランが67%増の1,972万ドル、ロシア31%増の1,661万ドルと何れも2桁の伸びとなっている。この5カ国で全体の72%を占めている。

糸類の輸出は、数量で4%減の19万6,469トン、金額で9%増の7億63万ドルと数量減の金額増となった。太宗品目は合繊長繊維糸であるが、中心品目のポリエステル長繊維糸が大きく減少したが、ナイロン長繊維糸が好調で、全体で、数量で6%減の16万6,501トン、金額で11%増の5億5,482万ドルと数量減の金額増となった。合繊長繊維糸の最大市場（金額ベース）は中国で4%減の1億47万ドルと後退、第2位はEUで13%増の9,166万ドルと2桁の増加、続いて米国が1%増の5,302万ドル、香港が127%増の5,131万ドルと大幅に増加、トルコが23%増の5,097万ドルとなっている。

織物類の輸出は、金額で3%減の13億8,956万ドルと減少推移となった。

中でも韓国繊維品輸出の代表的品目であったポリエステル長繊維織物は、金額で2%減の5億9,705万ドルと引き続き苦戦が続いている。

ポリエステル長繊維織物の主要輸出国（金額ベース）は、1位が中国で19%増の1億1,360万ドルと大幅に増加、2位がアラブ首長国で8%減の5,996万ドル、続いて香港が2%減の5,066万ドル、サウジアラビアが7%増の4,695万ドル、EUが1%減の4,784万ドル、ベトナム7%増の4,355万ドル、米国が16%減の4,272万ドル、インドネシア16%減の3,174万ドルとなっている。

その他主要織物類では、綿織物が3%減の2億8,885万ドル、合繊短繊維織物が10%減の9,006万ドルと何れも減少推移となった。

このように織物類は総じて不振であるが、ニット生地が14%増の15億8,549万ドルと好調に推移しており、品目別で最大の輸出品目となっているのが注目される。

なお、衣料品の輸出は、ニット製衣料品が8%減の5億35万ドル、一方、布帛製衣料品も9%減の3億5,596万ドルと何れも低調な推移となっている。

<輸入は11%増の40億8,284万ドルと衣料品を中心に2桁の増加>

一方、韓国の繊維品の輸入は、主に中国からの衣料品輸入の増加により、前年同期比11%増の40億8,284万ドルと2桁の増加となっている。地域別では、シェア80%を占める東アジアは12%増の32億6,140万ドル、シェア11%の欧州が8%増の4億5,980万ドルと共に増加推移、一方、シェア4%の北米は7%減の1億8,283万ドルと減少推移となっている。

国別では、最大輸入先の中国は16%増の23億9,412万ドル、EUは10%増の4億2,477万ドルと上位2カ国は共に2桁の増加、続いて日本が横ばいの2億587万ドル、米国が7%減の1億6,921万ドル、インドが10%減の1億3,722万ドル、インドネシアが7%増の1億3,407万ドル、ベトナムが34%増の1億56万ドル、台湾が1%減の9,279万ドルとなっている。

品目別輸入では、綿類の輸入は数量で12%増の18万91トン、金額で9%増の3億8,478万ドルとなった。その大半は綿花を中心とする天然繊維原料の輸入である。

糸類の輸入は数量で4%増の29万2,204トン、金額で6%増の8億5,209万ドルとなった。内訳は、最大品目の綿糸の輸入が減少しているが、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸の輸入が高い伸びを記録している。

織物類の輸入は金額で横ばいの5億1,718万ドルとなった。主要織物の内訳は、綿織物が8%減の1億9,424万ドル、ポリエステル長繊維織物が29%増の5,980万ドル、合繊短繊維織物は6%増の8,241万ドルとなった。

また衣料品の輸入は、主に、中国からの輸入が大幅に増加しており、ニット製衣料品が22%増の5億6,549万ドル、布帛製衣料品は17%増の11億9,961万ドルと何れも大幅な増加となった。



◎ 2007年5月の繊維品輸入、中国の伸び顕著

2007年5月の米繊維品輸入は、NAFTAからの輸入が15.7%減と依然として低迷しているのに加えて、CBIからも1.8%減と周辺諸国からの輸入が不振となった。最大供給国の中国からは前月の伸び率鈍化を補うかのように21.9%増と大幅な伸びを示した。全体ではノン・アパレルがプラスに転じたこともあって3.9%増と、今年になって5ヶ月連続の増加となった。

米国の繊維品輸入推移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合 計	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	▲0.7	16,103	0.4	32,812	▲0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,827	6.8	22,010	10.3	50,836	8.3
2006年	29,607	2.7	22,539	2.4	52,146	2.6
2007年	12,086	▲1.3	8,886	9.3	20,971	2.9
1月	2,373	▲5.2	1,919	13.0	4,292	2.2
2月	2,250	4.5	1,723	8.6	3,973	6.2
3月	2,341	▲0.9	1,797	6.5	4,138	2.2
4月	2,411	▲4.2	1,614	8.1	4,025	0.4
5月	2,711	0.2	1,833	9.9	4,543	3.9

注：前年比▲は減少。 出所：米国商務省（DOC）5月の輸入。

米国商務省が発表した2007年5月の米繊維品輸入は、45億4,300万SME（平方メートル換算）で前年同月比3.9%増（1～5月前年同期比：2.9%増）となった。アパレルは依然として好調に推移しており、ノン・アパレルも糸、織物が不調続きであるが、その他の伸びが補って3ヶ月振りのプラスとなった。

主要供給国で見ると、パキスタン、メキシコ、カナダ、韓国、台湾は不振推移となったが、シェア37%を占める最大供給国の中国が盛り返したのを始め、インドネシア、バングラデシュ、ベトナムが順調に推移した。インドは微増にとどまった。

米国の繊維品輸入推移(主要地域・国別)

単位：100万SME、%

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 1-5月	前年 同期比
全世界	38,288	42,227	46,936	50,836	52,149	20,971	2.9
NAFTA	7,722	7,238	7,373	6,892	5,864	2,162	▲15.2
メキシコ	4,335	3,926	4,101	3,883	3,425	1,284	▲11.6
カナダ	3,387	3,312	3,272	3,009	2,439	878	▲20.1
CBI	3,830	4,046	4,168	4,169	3,796	1,485	2.5
ホンジュラス	1,099	1,165	1,209	1,262	1,144	461	6.3
エルサルバドル	817	895	895	897	744	313	21.4
ドミニカ共和国	743	758	772	725	588	179	▲25.7
ビッグ4	9,348	12,633	16,128	20,595	22,537	9,242	15.1
中国	4,963	8,288	11,662	16,763	18,614	7,790	20.5
韓国	2,032	2,097	2,301	2,027	2,139	847	▲3.7
台湾	1,391	1,356	1,302	1,083	1,172	460	▲0.1
香港	962	892	862	721	613	146	▲34.9
アセアン	4,766	4,980	5,140	5,145	5,754	2,318	1.2
タイ	1,316	1,098	1,114	1,052	1,019	369	▲11.4
インドネシア	1,215	1,151	1,275	1,354	1,599	691	5.4
フィリピン	817	794	711	643	694	235	▲15.7
ベトナム	358	827	905	950	1,148	540	18.6
カンボジア	474	561	673	740	870	342	6.1
EU	2,055	2,059	2,063	1,912	1,698	706	▲5.0
イタリア	518	533	462	385	325	141	1.1
ドイツ	551	484	479	453	383	132	▲25.6
その他	10,567	11,272	12,064	12,123	12,500	4,019	▲5.0
パキスタン	2,537	2,690	2,970	3,290	3,567	1,326	▲12.7
インド	1,545	1,666	1,915	2,334	2,654	1,195	6.4
バングラデシュ	1,150	1,110	1,109	1,314	1,495	683	12.8
トルコ	1,068	1,026	982	844	725	265	▲11.0

注：前年比▲は減少。 出所：米国商務省（DOC）5月の輸入。

【5月の主要地域別輸入状況】

- ビッグ4からの輸入は中国1カ国が頑張っており全体としては15.5%増（1-5月前年同期比：15.1%増）と好調に推移した。因みに中国のシェアを本年1-5月の数量ベースで見た場合、全体で37%(同金額ベース30.6%)、アパレルで30%(同27.5%)、ノン・アパレルで42%(同40.7%)と他国を圧倒している。韓国、台湾、香港は軒並み不振が続いている。
- アパレルが中心のアセアンからの輸入は、インドネシア、ベトナム、カンボジアからは好調であるが、タイ、フィリピンからの輸入は低調な推移となっている。
- NAFTA パートナーからの輸入はこのところ低迷が続いている。アパレル中心のメキシコが12.3%減、糸と織物主体のカナダは20.5%減と、両国合わせて15.7%の大幅な減少が続いている。

- CBI からの輸入は、エルサルバドル、ホンジュラスが頑張っているが、その他が不振で全体で1.8減と前月の好調な伸びから一転して減少に転じた。
- EU (15カ国) からの輸入は、フランスは織物の好調により前月に引き続いて好調を持続、イタリアも回復基調にあるが、ドイツが不振で全体としては微増に止まった。
- 上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、インドがアパレル、その他繊維製品を中心に微増、バングラデシュはアパレルを主体に依然好調を持続している。トルコについてはアパレル、その他繊維製品が振るわず低迷が続いている。

組合関係の会議と催事

〔2007年7月〕

2日(月)

輸入 (東京) 「貿易実務の基礎研修会」がTFTビル会議室で開催され、大谷・JETRO認定貿易アドバイザーを講師に研修が行われ、組合員109名が参加した。

3日(火)

輸出 (大阪) 近畿財務局による、最近の繊維品貿易状況についてのヒアリング開催

輸入 (名古屋) 「貿易実務の基礎研修会」が名古屋商工会議所会議室で開催され、大谷・JETRO認定貿易アドバイザーを講師に研修が行われ、組合員17名が参加した。

輸出入 (大阪) 「インドシナ経済回廊と各国の思惑」講演会が輸入組合主催・輸出組合協賛で開催され、松本・前バンコク日本人商工会議所事務局長より講演が行われ、輸出入組合員35名が参加した。

4日(水)

輸入 (大阪) 「貿易実務の基礎研修会」が輸入組合・テキスタイル倶楽部共催にて輸出繊維会館BMホールで開催され、大谷・JETRO認定貿易アドバイザーを講師に研修が行われ、組合員114名が参加した。

(東京) 平成20年度関税改正要望に係る経済産業省のレクチャーが行われた。

5日(木)～6日(金)

輸出入 (大阪) 「繊維の基礎知識と品質評価研修会」(大阪地区)が輸出組合・輸入組合・テキスタイル倶楽部の3団体共催で2日間に亘って開催され、日本化学繊維検査協会の倉本・吉田・阿部の各講師より研修が行われ、5日(木)183名、6日(金)170名が参加した。

6日(金)

輸出入 (大阪) (財)神戸国際協力交流センター受入れの「平成19年度貿易促進コース研修」に参加している発展途上国13名の政府関係者が来所され、輸出入組合事務局よりレクチャーを行った。

10日(火)

輸出 (東京) 織産連・知的財産権保護推進委員会が繊維会館にて開催。中西常務理事が委員として出席

13日(金)

輸入 (大阪) 「第16回化合織委員会」(清水委員長)が開催され、①委員会組織改正②化合織の輸入状況等情報交換が行われた。

輸入 (東京) 「在京絹委員会」(川村委員長)が開催された。

20日(金)

輸入 (大阪) 「四川省服装協会と輸入組合との懇談会」が開催され、米良・輸入組合特別アドバイザーよりの「日本の衣料品市場と輸入概要」について講演の後、日本側汪团长(蝶理)並びに中国側楊团长(四川省服装協会副会長)より挨拶と説明があり、意見交換を行った。懇談会終了後、同所で懇親会が開催された。

23日(月)

輸入 (大阪) 第32回書面理事会。組合員の承継加入に関して

輸入 (東京) 「繊維の基礎知識研修会」(東京地区)が開催され、日本繊維製品品質技術センターの手塚・吉里両各講師より研修が行われ、119名が参加した

25日(水)

輸入 (東京) 「F T A検討会」(五十川議長) が開催され、日・ベトナム経済連携における繊維分野の進捗状況及び官民合同訪越ミッション報告の後、意見交換が行われた。

26日(木)

輸出 (東京) 繊維産連常任委員会が開催され、当組合から大塚副理事長が出席。

輸入 (大阪) ①「第16回絹委員会」(川村委員長) が開催され①新委員推薦②内外のシルク状況③絹需要振興事業④委員長互選が審議され、情報交換が行われた。

②「2007 中国ビジネス特別相談会」(第一部:「衣料品における日中間の最新物流事情と今後の方向性について」のセミナー、第二部:分科会) が(財)大阪国際経済振興センターと輸入組合の共催で輸出繊維会館 BM 会議室にて開催され、組合員ほか57名が参加され、分科会では活発な質疑応答が行われた。

31日(火)

輸出 (大阪) 平成19年度第2回企画委員会開催。平成19年度委員長に柳川三菱商事原料部長が選任された。また、平成19年度のタスクフォース・メンバーが選任された。

—東京・大阪・名古屋で各種研修会と講演会を開催—

輸出組合と輸入組合は2007年7月に各種研修会と講演会を開催した。開催概要は以下のとおり。

(1) 「貿易実務の基礎研修会」

講師：大谷巖氏・JETRO 認定貿易アドバイザー

(東京) 日時：2007年7月2日(月) 10時～16時

会場：東京ファッションセンター (TFTビル) 会議室

主催：日本繊維輸入組合

組合員参加者：109名

(名古屋) 日時：2007年7月3日(火) 10時～16時

会場：名古屋商工会議所 会議室

主催：日本繊維輸入組合

組合員参加者：17名

(大阪) 日時：2007年7月4日(水) 10時～16時

会場：輸出繊維会館 BMホール

主催：日本繊維輸入組合・テキスタイル倶楽部

組合員参加者：114名

内容：組合員の若手及び新入社員を対象に貿易の基礎実務を講演。

講演項目は、市場と調査、貿易取引の形態、引合から契約まで、インコタームズ、貿易貨物の輸送、船積書類、取引決済方法、保険、外国為替、貿易関係法規、関税制度、輸出入通関と船積み・荷受の手順、クレームとその解決。



(2) 「繊維の基礎知識と品質評価研修会」

(大 阪) 日 時：2007年7月5日(木)・6日(金) 13時～16時

会 場：輸出繊維会館 BM ホール

主 催：日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合・テキスタイル倶楽部

講 師：日本化学繊維検査協会・倉本氏、吉田氏、阿部氏

組合員参加者：5日(木) 183名、6日(金) 170名

内 容：①繊維、糸、生地及び染色の基礎知識②生地品質の評価③縫製品の基礎知識と性能評価④最終製品の品質表示規則⑤付加する機能とその評価

(東 京) 日 時：2007年7月23日(月) 10時～16時

会 場：東京ファッションセンター (TFTビル) 会議室

主 催：日本繊維輸入組合

講 師：日本繊維製品品質技術センター・手塚氏、吉里氏

組合員参加者：119名

内 容：①繊維の基礎知識②繊維製品の基礎知識



(3) 「インドシナ経済回廊と各国の思惑」講演会」(大阪地区)

日 時：2007年7月3日(火) 13時半～15時

会 場：輸出繊維会館 BM 会議室

主 催：日本繊維輸入組合

協 賛：日本繊維輸出組合

講 師：松本敬介氏・前バンコク日本人商工会議所事務局長

組合員参加者：35名

内 容：インドシナ経済回廊 (GMS) プログラム、GMS の規模、主要な成果、GMS 基幹イニシアチブ、GMS (グレーターメコン)、GMS 経済圏に広がる日本人組織、海路から陸路へ、バンコク日本人商工会議所による経済回廊視察団の派遣、東西経済回廊、東西経済回廊の完成に向けて、南北経済回廊、南北経済回廊の完成に向けて、南部 (第2 東西回廊) 経済回廊の完成に向けて、各国の思惑、今後の GMS 経済戦略

(4) 「2007 中国ビジネス特別相談会」(第1部/「衣料品における日中間の最新物流事情と今後の方向性
セミナー」 第2部/分科会) (大阪地区)

日 時：2007年7月26日(火) セミナー/13:30~14:30 分科会/14:45~16:30

会 場：輸出繊維会館 BM 会議室

主 催：(財)大阪国際経済振興センター・日本繊維輸入組合

講 師：河田洋一氏・日新運輸(株)取締役、海外営業本部長

組合員参加者：57名

内 容：衣料品貿易の現状、衣料品物流を取り巻く環境の変化、日中間物流の戦略的ポイント、物流戦略を支える各種サービス、物流の将来像



セミナー



分科会

—四川省服装協会と輸入組合との懇談会を開催—

2007年7月に来日した中国「四川省服装協会」と日本繊維輸入組合との懇談会が、7月20日（金）に大阪で開催された。概要は以下のとおり。

日時：2007年7月20日（金） 16：00～18：00

会場：大阪/輸出繊維会館 BM 会議室

出席者：別添団員名簿

概要：① 団員紹介（日本側・中国側）

② 講演「日本の衣料品市場と輸入概況」

講師：米良章生氏（日本繊維輸入組合 特別アドバイザー）

講演項目：1. 日本人の知る四川省

2. 日本の衣料品輸入（1）～（5）

3. 中国西南地区の繊維産業（1）～（3）

4. 日本の市場特性

5. 重慶市の繊維産業現状と将来方向

6. 四川省の繊維産業現状と将来方向

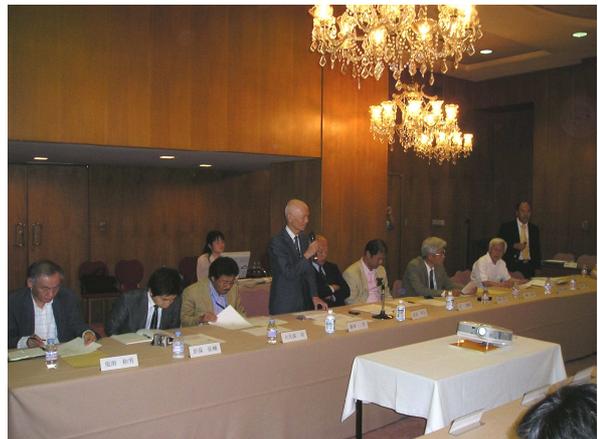
7. チャイナプラスワンについて（1）～（2）

③ 日本側団長挨拶 汪奮毅団長（蝶理）

④ 中国側団長挨拶 杨淑琼団長（四川省服装協会副会長 兼 秘書長）

⑤ 意見交換

* 懇談会終了後、同所で歓迎会が開催された。





◎ 繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と

「保険期間延長手続き」について

別表に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成19年9月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6ヵ月」延長されます。

記

- * 平成19年3月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成18年9月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの
 (注) 当初の保険責任期間は「前受け」6ヵ月、「前受け以外」12ヵ月となっております。

1. 提出期限：平成19年9月20日（木）
2. 提出書類：① 貿易一般保険包括保険(繊維品)
 保険期間延長依頼書.....2通
 (用紙は事務局で準備しています。)
 ② 延長を必要とする包括保険申込書のコピー.....1通
3. 提出先：総務部 (☎06-6201-1832)

なお、延長手続きのFAXによる申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
 保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る2007年3月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 7	101212～ 101857 ----- 502014～ 503004	100465～ 100846	100037～ 100040

前受け以外に係る2006年9月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 6	104859～ 105375 ----- 508868～ 509999	102329～ 102638	100195～ 100208

◎ 「イラン」向け、引受方針変更について

このたび貿易保険から、“「イラン」(国コード：133)の核開発を巡る諸情勢に鑑み適切なリスク管理を行う観点から以下の基準を変更し、実施日より適用いたします。”旨連絡がありましたのでご通知します。

この結果、下記の取扱いとなります。

記

1. 引受限度額：10億円(据置き)
2. ユーザンス：6月(据置き)
3. ILC取得条件：有り(据置き)

新：※ Saderat 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行したL/C又はSepah 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行したL/Cにより決済がされる輸出契約等。

旧：※ 2006年9月13日以降にSaderat 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行したUSD建てL/C又はSepah 銀行若しくは同行の支店若しくは子会社(イラン国外に所在するものを含む。)が発行したL/Cにより決済がされる輸出契約等。

上記に該当する取引については保険契約の申込みを要しない。仮に申込みがなされた場合においてもてん補する責めに任じない。

4. 国別倍率：4.5倍(据置き)

* 国倍率(地域差料率)とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

5. 実施日：平成19年7月30日

－名古屋事務所移転のご案内－

この度、名古屋事務所を下記に移転致しますのでご案内申し上げます。
今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

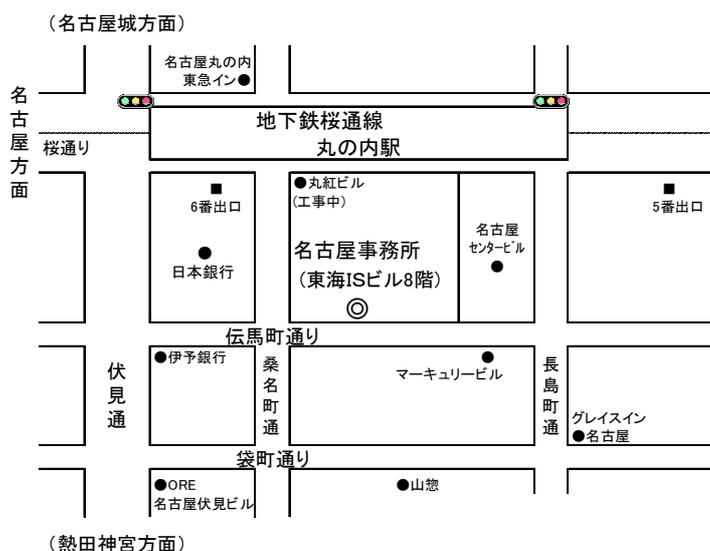
記

移転先 〒460-0003
 名古屋市中区錦2丁目2番24号
 東海ISビル8階
営業開始日 2007年9月3日（月）

日本繊維輸出組合 名古屋支部
電話番号（052）201-4985（変更無）
FAX番号（052）231-8988（変更無）

日本繊維輸入組合 名古屋事務所
電話番号（052）231-2861（変更無）
FAX番号（052）231-8988（変更無）

以上



お知らせ

－ 2007 年 9 月の輸入通関手続相談窓口開設日 －

2007 年 9 月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫 8 手続等々通関業務諸問題について
ご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2007 年 9 月 12 日（水）及び 9 月 26 日（水）
2. 場 所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時 間 午後 1 時より午後 5 時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03 (3270) 0791

Fax 番号 03 (3243) 1088

E-Mail 0023@j t i a . o r . j p (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上

組合員情報

◎組合員の脱退

- ・アツギ(株) (平成 19 年 7 月 23 日)
- ・(株)エドウィン (平成 19 年 7 月 23 日)
- ・(株)ビーエス (平成 19 年 7 月 30 日)

◎組合員の承継加入

- ・(株)エドウィン商事 (平成 19 年 7 月 23 日)